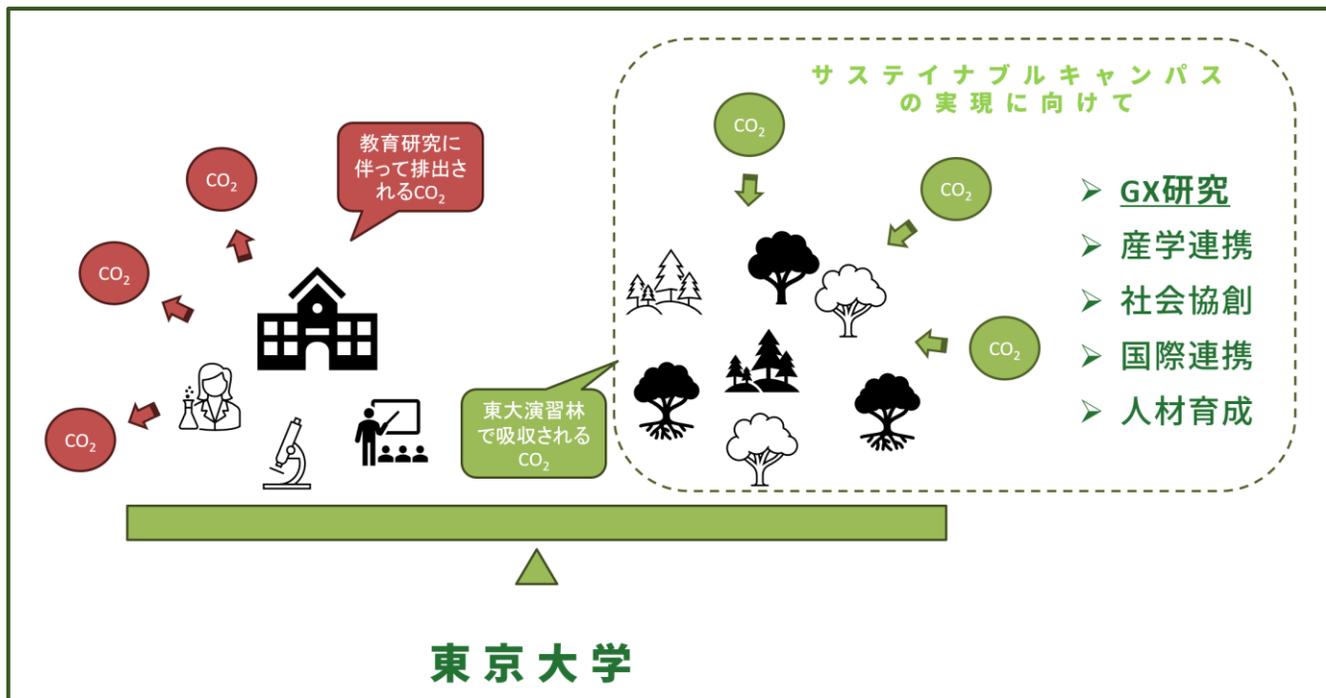


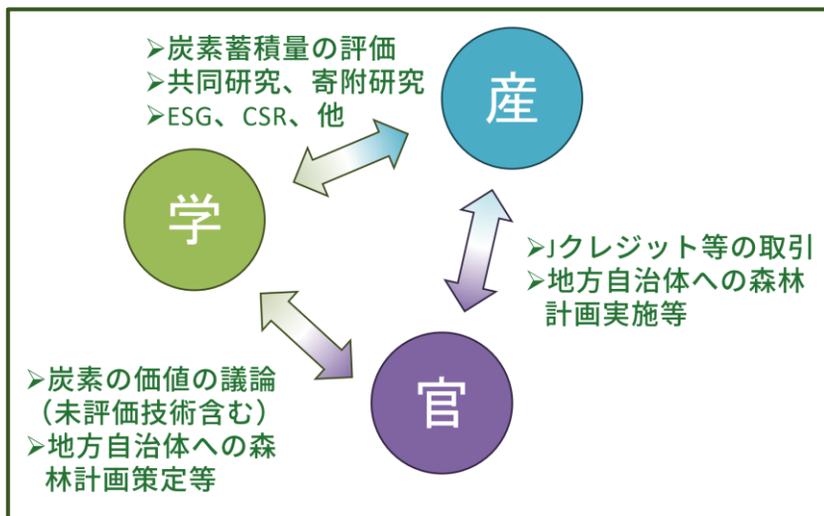
東京大学は、教育・研究機関として将来の持続可能な社会のモデルをキャンパスから示すため、様々な取り組みを行っています。



持続可能なキャンパスの実現に向けた東大モデルの一例

フォレストGX/DX協創センターでは、日本各地にある東大演習林を活用し、GX研究に加えて、産学連携、社会協創、国際連携、人材育成などの取り組みを行っています。

- CO₂の吸収量の算定、炭素蓄積技術の評価、炭素の価値に関する議論などに取り組みます。
- 将来的にカーボンニュートラルを実現するための学からの発信として、東大モデルの提案を行っていきます。



産学官による協創